

ホームから転落 救助貢献

朝倉署、高校生2人に表彰状



男性の救助に貢献し表彰された太田さん(中央左)と石橋さん(同右)＝朝倉署

駅のホームから転落した高齢男性の救助に貢献したとして、朝倉署は14日、高校生2人に表彰状を贈った。表彰状を受け取ったのは朝倉東高校1年の石橋咲希

さん(16)と朝倉高校1年の太田一翔さん(16)。9月25日午後7時半ごろ、甘木鉄道の甘木駅(朝倉市)で80代の男性が電車から降りた後にふらつき、電車とホームのすき間に落

ちた。帰宅途中だった石橋さんは、一部始終を目撃。「電車を止めてください」と運転士に知らせた。待合室にいた太田さんは、石橋さんから話を聞いてすぐに119番通報した。男性は軽いけがをしたが、駆けつけた救急隊に救助された。

石橋さんは幼い頃に、両親が路上で座り込んでいる高齢男性の体調を心配して声をかける姿を見た。「自分も困った人に気配りができるようにになりたい」と考えるようになり、「今回も迷わず行動に移した。『当たり前のことを当たり前にできる大人になりたい』。太田さんは「自分がなんとかしなきゃと思った。命が助

かってよかった」と笑顔だった。(川辺真改)

人命救助に貢献
2高校生を表彰

朝倉署

朝倉署は人命救助に貢献したとして、朝倉市の朝倉東高1年石橋咲希さん(16)と大井洗町在住の朝倉高1年太田一翔さん(16)を表彰した。写真。



署などによると、9月25日午後7時半ごろ、朝倉市の甘木鉄道甘木駅で、80代男性が電車とホームの間に転落。目撃した石橋さんは「人が転落しました。電車を止めてください」と運転手に伝え、太田さんはスマートフォンで119番通報し救急車を呼んだ。男性は軽傷で、当時、酒に酔っていたとみられる。

湊研二署長から14日、表彰を受けた石橋さんは「困っている人を手助けする両親の姿を見ていたので、できたのだと思います」。太田さんは「突然のことで驚いたが、僕にできることをした。命を救うことができ良かった」と語った。

湊署長は「とっさの判断と行動は素晴らしいの一言に尽きる」と2人をたたえた。(横山太郎)